

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

# アンコールワット

発行日:2017年(平成29年)9月1日 《年6回・奇数月発行》 会報 第96号

特定非営利活動法人(NPO法人)  
**21世紀のカンボジアを支援する会**

(AAC21) ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203  
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213  
E-mail:info@aac21.net

【カンボジア事務所】Phon Preytea, Sangkat Chaom Chao, Khan Por Senchy  
Khan Por Senchy, (Borey Newtown) Phnom Penh  
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707

【ホームページ】 AAC21

【公式ブログ】 メコンの風に吹かれて

【Facebook】 <https://www.facebook.com/aac21.net>

## 10回記念サッカー大会を開催

7月9日、ローロツ小学校(コンボンズプー県)の校庭で「コンボンズプー県小学校対抗サッカー大会」を開催、県内の8校が参加して優勝を競った。生徒数が最も少ない「アピワット小学校」が初優勝した。

本大会は今回で10回目の記念大会だった。毎年一度、11月に開催してきたが、今年からは日程の都合で7月に開催となった。

7月は雨が少なく、雨量が多い11月より校庭のコンディションは上々、はだしてボールを追いかける子どもたち

トーナメント方式で8試合を行った。どの試合も息詰まる熱戦で、子どもたちの真剣な眼差しと機敏な動きが印象的だった。

菊池代表は「第1回大会に較べると格段にレベルアップした。プロサッカー選手になるのも夢ではなくなつた」と話している。

閉会式で、菊池代表が日本から持参したサッカーのユニフォームなどの賞品を、本会から賞金を優勝チームなどに贈呈した。

来年も7月に、第11回大会を予定している。



はだしてボールを追いかける子どもたち



参加チーム全員で記念撮影(写真提供=遠藤啓様)

## 小学校対抗サッカー大会10回記念を迎えて

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸 恒次

8年前、コンボンズプー県に児童養護施設「夢ホーム」を開設し、ついでに小さなサッカーコートを作った。

その年の11月、夢ホーム周辺の3つの孤児院に呼びかけ、4チームで第1回サッカー大会を開催した。

その後、会場を中学校の校庭に移

アの子どもたちに夢と希望を贈る市民の会(茨城県日立市、菊池和雄代表)と共催することになり、以後閉会式で子どもたちに贈呈する賞品はすべて同会が日本から持参してくれている。

この8年間で、子どもたちのサッカー技術は数段レベルアップした。最初は遠くに蹴るだけの子どもが多

し、参加チームも近隣の小学校に変更、5回〜6回大会頃から現在の会場である「ローロツ小学校」に移り、参加チームも8校に増えて今に至っている。

当初は本会が単独で主催していたが、5回大会当たりから「カンボジ

カとして「藤枝MYFC」(J3)に期限付きでレンタル移籍、4月に公式戦デビューを果たした。J3ではあっても立派なリーガーだ。

カンボジアナショナルチームも、ワールドカップ2次予選に進出、2015年11月にはカンボジア国立競技



決勝戦で主審を務めた菊池和雄代表

7月7日、「カンボジアふれあいの旅」の日程の中で、「国際ソロプチミスト安城」(愛知県安城市、堀尾郁子会長)がカンボジアの小学校に寄贈した井戸の贈呈式を行った。

同じ安城市在住の石川副理事長が感謝状を受け取り、テープカットした。

同団体は、本会を通じてカンボジアの支援活動を数年に亘り続けており、春に行われたチャリティコンサートでの収益金を充当してく



現地でいただいた感謝状を堀尾会長に届けた(8月7日、安城市内のホテルロビーで)

**今年も参加します!**

ご家族や、ご友人も  
お誘い合わせのうえ、ぜひお越し下さい!

### グローバルフェスタ2017

日時: 9月30日(土)・10月1日(日)  
午前10時~午後5時

会場: お台場センタープロムナード  
(シンボルプロムナード公園内)

活動報告コーナーにて(2016年度)

テントブースを設け、本会活動紹介・パネル展示・会報などの資料配布を行います。

ボランティアでお手伝いをして下さる方を募集しております。(半日でも結構です。)詳細は事務局までお問合せください。

「国際ソロプチミスト安城」が小学校に井戸を寄贈

## カンボジアの子どもたちをサポートしてください



里親さん、ありがとう

## クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

例えば72年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

- 【年会費】: 子ども1人につき、1年間3万円。一括納入、分割納入(毎月、年3回、年2回)のどちらでも可。所定の郵便振替用紙を使ってお振込みください。
- 【会費の使途】: 年会費の40%が、学用品、制服、靴などの購入、学校への納付金、お小遣い、生活資金など、子どものために使われます。年会費の60%が、夢ホームで暮らす子どもたちの生活費及び運営費、里子をケアして下さる各学校への謝礼金、現地スタッフの給料・ガソリン代・事務所家賃・車の整備代など現地でかかる経費、通信費・印刷費・人件費など東京の本部でかかる経費として使われます。
- 【サポート期間】: 最低1年間単位ですが、少なくとも里子が学校を卒業するまでの期間、サポートしていただけたら幸いです。里子からは年2回、近況を報せる手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。(年に一度、成績表も届きます)
- 【里子との交流】: 里親さんからの手紙、プレゼントも里子に届けることができ、心あたたまる交流ができます。(お礼状と写真が届きます)

# 児童養護施設 夢ホーム日記

カンボジアのコンポンスプー県にある児童養護施設「夢ホーム」は、両親や片親を亡くしたり、親がいても不遇な環境にある子どもたちの生活と教育の場として、会員の皆様のご厚意により2009年3月に開園しました。

現在10歳～19歳の男女15人が暮らし、近隣の小・中・高校に通学しています。

## ふれあいの旅参加者が訪問

7月9日、第36回「カンボジアふれあいの旅」に参加したメンバーが訪問、しばし子どもたちと交流した。

平古場正行さん(横浜市、理事)が、衣料品43着を寄贈してくれた。また、大星スズ子さん(岩手県奥州市、里親会員)が、石鹸・タオルを寄贈してくれた。

## 子どもとともに苗木も大きくなった

2009年に開園した時に植えたココナツ椰子の木が初めて実をつけた。1メートルほどの苗木だったが、8年かけて大きく成長した。

開園時に入園した子たちも半分以上が卒業し巣立って行った。時の流れを感じる。



国際ソロプチミスト安城様寄贈の井戸で水を飲む子どもたち



広瀬様寄贈の井戸を囲み子どもたちと記念撮影



高橋和子・由起江様寄贈の井戸で手を洗う子どもたち



匿名様寄贈の井戸で手を洗う子どもたち

## 7月に完成した井戸の内訳

ネームプレート名	学校名	生徒数	所在地(県名)
① 広瀬 美保 様	コキー小学校	375人	トゥボンクモム県
② 国際ソロプチミスト安城 様	ジロートカandal小学校	323人	トゥボンクモム県
③ 高橋和子・由起江 様	ジャントーン小学校	354人	トゥボンクモム県
④ 匿名(プレート名:ともだち) 様	コファンダト小学校	1,070人	タケオ県

※通算の井戸設置数(2003年～)=306基(7月現在)

7月は、カンボジアの小学校に4つの井戸が完成、「カンボジアふれあいの旅」に参加した皆さんなどが参加して贈呈式を行った。どの井戸もきれいな水が出て、生徒たちは水を飲んだり顔を洗ったりして、井戸の完成を喜んでいました。

# カンボジアの小学校に4つの井戸が完成

6月15日～30日、上山陽子さん(奈良県大淀町在住、法人監事・里親会員)がカンボジアを訪問、23日と24日には、夢ホームの子どもたちが通学する「タメイ小学校」で音楽指導、隣接する「タメイ幼稚園」で遊戯指導を行った。上山さんは年間5～6回カンボジアを訪問、同小学校と幼稚園で音楽・遊戯指導を続けている。また、6月25日～7月4日、宮川公子さん(宮城県石巻市在住、里親会員)がカンボジアを訪問、26日～7月1日には「ローロックス学校」及び「ソムブル小学校」で鍵盤ハーモニカ(ピアノ)による音楽指導を行った。特に、ソムブル小学校での指導は初めて。岡本浩史さんから贈られた鍵盤ハーモニカ



建設工事の様子

セナープロモック小学校図書室増設工事を開始 2015年11月、セナープロモック小学校(プレアビア県、生徒数1100人)に3教室の新校舎が宮下隆さん(東京都調布市、里親会員)の資金協力により完成した。その後生徒も増え、学校からも図書室建設の要望があったため、現在ある校舎に一つの教室を増築する工事を、6月に着工した。宮下さんが資金提供してくれた。工事は順調に進んでおり、11月に完成の予定。

《夢ホーム》 第32回 鑄造によるアクセサリ作り技術講習会 榎戸徹彦さん(横浜市、理事・里親会員)は隔月にカンボジアを訪問、夢ホームや近所の子どもたちを対象に、アクセサリ作りの技術講習会を開いている。第32回講習会を、6月27日～7月1日に実施した。受講生も定着し、それぞれの



子どもたちの意見を聞く石川副理事長

トロパントム石川小学校訪問 7月12日、石川桂副理事長(愛知県安城市)が「トロパントム石川小学校」を訪問、生徒、住民たちと懇談した。3月の訪問時、石川副理事長から文集作成の提案をしたが、生徒が書いた原稿が沢山集まった。早速これを日本へ持ち帰り、印刷して文集を完成させ11月に持参することになった。



ピアノを使い音楽指導する上山陽子さん

子どもたちに 寄贈品を届けました 7月6日～21日、根岸理事長がカンボジア滞在中、日本から持参した寄贈品を小学校や村の子どもたちに届け、喜ばれた。配布した寄贈品は次の通り。ぬいぐるみ(提供:加藤知恵子様)、



古い木造校舎で学ぶ子どもたち

ロマアンソー小学校を訪問 7月15日、根岸理事長と遠藤啓さん(静岡県伊豆の国市、会員)が「ロマアンソー小学校」(コンポンスプー県オラル郡)を訪問、遠藤さんが生徒たちにお菓子を、「神戸ユネスコ協会(神戸市中央区)」からいただいたシャープペンをプレゼントした。本会は来年、同小学校に新校舎を建設する予定になっていて、古い木造校舎があるうちに一度訪問したいという遠藤さんの希望で訪問した。



「夢ホームで見かける動植物」と題して、ペンダントやイヤリングを作っています。ヤモリや花やバナナ等です。皆、自分でデザインして作れる様になってきています。種類がまとまったら、カンボジア国内で販売していく予定です。

第36回 カンボジアふれあいの旅 第36回目となる「カンボジアふれあいの旅」が7月6日～12日に行われ、一部参加者含む9人が参加した。6日は移動日、7日から活動を開始した。7日、「国際ソロプチミスト安城」様が小学校に寄贈した井戸の贈呈式に参加、併せて生徒らに学用品を配布した。8日、教育里親さんが2つのグループに分かれ支援する里子の家を訪問、里子と交流しプレゼントを届けた。9日、児童養護施設「夢ホーム」を訪問、子どもたちと交流した。10日は自由行動日。11日、プノンペン市内観光(午後は自由行動)、夕方には空港へ向かい、現地解散した。参加者が少ないながらも濃い旅だった。



ぬいぐるみをもらい嬉しそう

学用品(提供:岩橋京子様、遠敦子様、吉田由紀子様)、ランドセル(提供:竹尾幸子様)、シャープペン(提供:神戸ユネスコ協会様)

### クメール教育里親基金活動レポート

本会は、病気や事故、親の離婚などにより両親又は片親を失い、かつ貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学べるようにと、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在約400人の子どもたちを教育支援している。7月8日、第36回「カンボジアふれあいの旅」に参加した教育里親さんらが2つに分かれ、教育支援する里子の家を訪問した。

また7月19、20日、教育里親さんからお預かりした里子へのプレゼントを、9人の子どもたちに届けた。その他のプレゼントは、現地ス



里子を訪問した本間誠一さん(写真提供=遠藤啓さん)

タッフが後日届けた。今年の長期休みは9月1日〜10月31日、8月一杯は授業が行われる予定。(根岸記)

### 教育里子へプレゼントをお届けします

お届け後、里子から写真付きのお礼状が届きます  
【プレゼントのお届け方法は2つございます。下記をご参照ください。】

- ①現地(カンボジア)購入  
本会の現地スタッフがカンボジアで購入し、里子に届けます。所定の郵便振込票を使ってお送りください。プレゼントの種類は、下記の通りです。
- 自転車(大人用・中古品) …8,000円
- お米(50kg) …5,000円
- Tシャツ・サンダルセット(Tシャツ2枚&サンダル1足) …2,000円
- お菓子セット(お菓子の詰め合わせ) …1,000円
- 本セット(絵本3~4冊/高学年以上は児童書・伝記等1~2冊) …1,000円
- 文房具セット…1,000円(ノート・筆記用具等)



新しく追加した文房具セット▶

- ②日本から持参  
品物や手紙は練馬区の事務局に送っていただき、カンボジア訪問時に現地へ持参します。空港からの持ち出しに重量制限がありますので、A4サイズ封筒に入る程度にしてください。
- ※現物が多い場合、現地への持参を先に延ばしていただくこともありますので、予めご承知ください。

- 奇数月にカンボジアを訪問しますので、プレゼント(現物・現金ともに)は偶数月の末日までに届きますよう、お送りください。
- 詳細は、事務局までお問い合わせください。

### 縫製工場で頑張っています「ゲット・スレイナット」

私はゲット・スレイナットです。23歳になります。日本の里親さんより、小学4年生の時から教育支援を受け、今も生活が苦しいため生活支援してもらっています。

小さい時に両親が亡くなったため、祖母に育てられました。兄弟は弟が1人います。学校は中学2年で退学し、それから縫製工場に働いています。

去年7月、同じ職場の男性と結婚し、祖母が残してくれた家で2人で暮らしています。10月に子どもができる予定です。里親さんが教育支援してくれたおかげで、今の自分があります。とても感謝しています。



### 岩手県釜石市で写真展&絵画交流展

6月15日〜21日、岩手県釜石市内の「イオンタウン釜石・2階イベントスペース」に於いて、写真展「カンボジアの子どもたち」&絵画交流展を開催した。及川英博さん(本会理事で里親会員・岩手県奥州市在住)が、会場交渉から設営、約1週間にわたる写真展の説明、撤収まで、す



絵画交流の様子を見る来場者



活動報告する根岸理事長

べて行ってくれた。また、今回の写真展は、釜石市内の「平田小学校」とカンボジアの「タメイ小学校」の絵画交流の様子も展示し、好評を博した。中日となる6月18日には、同会場において根岸理事長が活動報告を行い、40人が参加した。

### タメイ小学校と平田小学校の絵画交流

7月19日根岸理事長が、夢ホームの子どもたちが通う「タメイ小学校」(コンボンズプー県)を訪問、及川理事(岩手県奥州市)を通じて「平田小学校」(岩手県釜石市)の生徒から託された絵画30点を「タメイ小学校」の生徒に届けた。

「タメイ小学校」からも絵画を預かり、及川理事が「平田小学校」に届けた。



日本の友達からの絵画を受け取る「タメイ小学校」の生徒たち

### 鈴木小学校植樹プロジェクト第2弾

鈴木千雄さん(故人)が寄贈した小学校の校庭に苗木を植えようと、親しかった遠藤啓さん(静岡県伊豆の国市、会員)が声掛けし、集まった資金をもとに2回目の植樹作業を7月13日に行った。遠藤さんと根岸理事長が参加した。

今回は、できるだけ早く成長するようにと、大きめの苗木を10本購入し、植えてきた。多分2〜3年先には、それなりの大きさの木に成長していることだろう。次回の植樹作業は、11月に予定している。また、苗木購入のカンパも継続



生徒も手伝って植樹する(写真提供=遠藤啓様)

中。(一口千円) 問い合わせ先(遠藤さんの携帯) 090-4150-8850

### ウオッチガンボジア

#### トクトクメーター登場

カンボジア(特に都市部)の移動手段は相変わらずバイクが中心だが、安全性と経済的であることから、最近はトクトクメーター(写真)が流行し始めた。インド製らしいメーターのないトクトクもあるが、運賃がはつきりしないため、支払いのトラブルが結構あるようだ。そこに登場したのが、メーター付きトクトク。LPG利用のため燃費もよく、これから主流になる勢い。



#### 国王お見送りの大行列

国道を車で走行していると、中学生・高校生らがカンボジア国旗を手に沿道に並んでいた。聞くと、シハモニ国王が出席していたセレモニーが終わり、これからプノンペン王宮に戻るようだ。その長さ約2キロメートル。そういえば子どもも頃、天皇陛下がお見えになるといふことで、日の丸を持って道路に並んだ記憶がよみがえった。



#### イスラム教伝道師に会った

特にイスラム教徒が多いコンボンズプー地方を廻ると、モスクがありそこに中東の国から来たイスラム人に会った。伝道師として本国から派遣されているようだ。恐る恐る記念撮影をお願いしたところ、意外に快く応じてくれ、しばし英語で話し合った。カンボジアのイスラム教徒は、約20万人といわれている。



#### 都市化するプノンペン

飛行機の窓から、プノンペン市内を撮った。家が密集し、高層建築が多くなった。40年前、ポルポト政権によつて廃墟と化した悲劇の街プノンペン、いまその面影はない。いつまでも平和であってほしいと願う。



#### 胡椒(こしょう)の木

カンボジアは胡椒の産地として有名。地方を巡っていると、胡椒畑があった。この木から、どのようにして胡椒を取るのか不明だが、変わった形をしている木だということが分かった。



#### あなたは どう思う??

日本人が寄贈した、シエムリアップにある小学校の校舎、古くなったので、韓国の学生グループがペンキを塗ったが、そこに自国の国旗を大きく描いた。これではまるで、韓国人が校舎を寄贈したと、見る人は誤解するだろう。寄贈した日本人がこれを見たらどう思う??





# 第1回カンボジア折々の記 共感の中で

宮川 公子

6月25日15時10分。プノンペン国際空港に降り立つ。近代化が進むターミナルを足早に通り返り、正面玄関へと急ぐ。

現地職員と上山さんに迎えられ、再会を喜び合いながら夢ホームへ。私を待ち受けていたのはアットホーム的にリフォームされたゲストハウス。

四方を囲む垣根。築き目が経つ楚々とした庭。垣根を彩る草花。小さな門口そして水口(水栓)と。園長さんと子ども達の力作である。

室内やシャワー室は、何時ものように拭き掃除が行き届き、トイレには上履きが用意されていた。

高校生の女の子達の、役割りでありゲストへの気配りである。その思いの中で、しばし長旅の疲れを癒す「オバアチャンゴハン」と子ども外はもう暮色に包まれていた。

6月26日学校訪問初日  
「ローロック小学校」午前9時教室に入る

ひと回り大きくなったかなと思われる子ども達。鍵盤ハーモニカを片手に三々五々集まって来る。半ば子ども達との会話が弾む。カンボジア語と日本語の掛け合いが不思議と通じ合う。

鍵盤奏法(初歩部門)修了に向けての演奏である。指揮に合せて三曲メドレーで演奏する。

澄んだ音色正確な指使い指揮への集中力。6ヶ月間のブランクなど、どこにも感じさせない。その直向きさに、思わず拍手を贈る。

それに連鎖してか、子ども達も次々に拍手拍手。喜びの拍手である、自分への拍手である。達成感・躍動感そして感動である。

子ども達の成績表には大きな合格シールが三枚ずつ並んだ。修了証である。

「頑張ったで賞」のプレゼント。一人ひとりに手渡す。

向こう一年間の「学習テキスト」である。カラー刷りの一ページ一ページに歓声をあげる子ども達。思いはもう、次なるステージへと飛んでいた。



音楽指導する宮川公子さん(左)

「頑張ったで賞」のプレゼント。一人ひとりに手渡す。

向こう一年間の「学習テキスト」である。カラー刷りの一ページ一ページに歓声をあげる子ども達。思いはもう、次なるステージへと飛んでいた。

6月26日学校訪問初日  
「ソムプルー小学校」午後1時

初めての訪問校である。鍵盤ハーモニカ、学習テキスト(一年分)二十名分を持ち込んでの活動開始である。

まずは、自己紹介。「大きい声の人にはハート印シール三枚」条件をつける。

子ども達は「よっしゃ」のガッツポーズ。一人が終わるごとに爆笑。素の自分を丸出しにしてアピールする。微笑ましい光景である。

学習準備に入る。

\*鍵盤ハーモニカ(学校のもの)

①約束すること・大切に扱う(自分勝手に持ち出さない)

②テキストの内容確認(種類別・それぞれ部数の確認)

③テキスト全部に名前を記入する。

④紙鍵盤に色別ナンバーを貼る(な

ぜ色別かに意識をもたせる)を貼る。(紙鍵盤と同じに)

すべてが始めてのもの。鍵盤ハーモニカもさることながらテキストはすべてカラー刷り、その一枚一枚目を輝かせる。

最後に鍵盤ハーモニカ使用手順を確認し、一音だけ音だしを試みる。「ヤッター」音が出たということだけで飛び上がって喜ぶ子ども達。

その余韻を、教室に校庭にふり撒きながら、「明日」を追いかけていた。未知への期待が募る。(続く)

(里親会員・宮城県石巻市)

## カンボジア小学校での歯磨き指導を通して

神谷浩司さんが刈谷市で講演

7月14日、刈谷市市民ボランティア活動センター(愛知県刈谷市)が主催する第75回車座集會にて、「途上国支援から考えるボランティア」カンボジア小学校での歯磨き指導を通してと題して、神谷浩司さんが講演した。

神谷さんは、歯科医院院長を勤めながら、NPO法人「リカバリーサポートあいち」の理事として、6月6日〜12日にカンボジアを訪問、歯磨き指導を中心に様々な支援活動を実施した。

実体験を通しての、神谷さんの講演を聞いた皆さんは、ボランティア活動への理解を一層深めることができた、感想を述べていた。



スクリーンを使い現地活動を説明する神谷さん

## 関西地区会員懇親会のご案内

主に関西地区にお住いの会員の相互交流を目的とし、会員懇親会を左記の要領で開催いたします。併せて本会の活動報告をいたします。(理事長出席)皆様ふるってご参加ください。

【日時】2017年10月28日(土) 正午〜14時ごろまで

【会場】大阪 梅田〜本町 あたりの飲食店を予定

【会費】5000円

【締切日】9月29日までに電話・ファクス・メールで本会事務局へ

TEL: 03-3999-12854 FAX: 03-3557-1213

【その他】

・参加希望者には、会場案内(交通アクセス)を郵送いたします。

・会費は、事前に本会事務局へお送りください。

・会員以外の参加も可能です。お誘いの上、お越しください。

活動に参加しませんか

クメール教育里親会員

農村的貧しい子どもたちが学校に行けるようにと教育資金をサポートしていただく教育里親会員を募集しています。サポート金額は年間3万円(分割可)です。

個人・団体会員として

個人会員(年額5千円)

団体会員(年額1万円)

書き損じハガキ・未使用切手・商品券等をお送りくださいませ

事務局便り  
第36回「カンボジアふれあいの旅」(7月6日〜12日)も無事終了し、続いて行われた第2回「カンボジアセミナー」(29日)も終わりました。次の大きなイベントは、「グローバルフェスタ2017」になります。皆様会場へお出かけください。



カンボジア語講座のひとこま



輪になって踊る

第2回カンボジアセミナーを開催  
カンボジアについて学び、理解を深めて支援と交流を推進しようとして7月29日、「JICA地球ひろば」(東京都新宿区)にて「カンボジアセミナー」を開催、約20人が集った。昨年12月に続いて第2回目の開催だった。

カンボジア人留学生の皆さん  
第3回目のセミナーを来年6月頃に予定している。